

Ⅲ 学童期の子どもをもつ保護者を対象にしたプログラム

Ⅲ-4 困ったことへの対処法

対象：学童期の子どもをもつ保護者
時間：60分

ねらい	子どもをめぐる様々なトラブルに適切に対応することができるよう、その対処法を考え合うとともに、日頃から、保護者・先生・地域住民とのつながりを深めておくことの重要性に気付く。		
実施のポイント (評価など)	<ul style="list-style-type: none"> ○ トラブルに対する不安感を軽減することができる。 ○ トラブルの対処法の幅を広げることができる。 ○ 周囲の協力を得ながら対処しようとする意欲を高めることができる。 		
事前準備	<ul style="list-style-type: none"> ○ あらかじめ6人程度のグループに分かれておく。 ○ 役割分担をする。(進行・記録・発表) ○ 助言者をお願いできる場合は、事前に打合せしておく。 ○ 筆記用具 		
時間	学習活動	学習活動のねらいとポイント	準備物
導入 5分	ワークの趣旨説明 ○アイスブレイク ・自己紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介では、保護者や子どもの名前、気がかりな事などについて話することで、悩みを共有しようとする雰囲気づくりをする。 ・特定の参加者が批判されないよう留意する。 	
展開	15分	ワーク1 <ul style="list-style-type: none"> ・エピソード文を読む。 ・ロールプレイを行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・2人の気持ちを考える。 (個人で記入し、その後グループで協議) 	役割分担表
	15分	ワーク2 <ul style="list-style-type: none"> ○各自での作業 <ul style="list-style-type: none"> ・解決方法を選択する。 ・後の展開を想像する。 ・後日、話を聞かされた、次郎の保護者の対応について考える。 ○グループ協議 <ul style="list-style-type: none"> ・各自の作業で記入したことを発表する。 ・意見交流 	
	15分	ワーク3 <ul style="list-style-type: none"> ○グループ協議 <ul style="list-style-type: none"> ・想定事例について、ワーク2をもとに、対応方法を考える。 ・日頃から、必要なことについて話し合う。 	
まとめ 10分	ふりかえり <ul style="list-style-type: none"> ・各自の思いを記入する。 ・発表し合い、共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を紹介し、みんな悩みをかかえていること、地域とのつながりがある人は不安が少ないことを伝える。 ・子育てにトラブルはつきもので、心配せず自信をもって、いざとなったら1人で悩まず、周囲に援助を求めることが大切であることを伝える。 	資料